

# 経済産業大臣賞

## 『TAMAプロジェクト 広域的な産学官+金融の連携による研究開発から製品化・販路開拓までの一貫した連続的支援体制の整備』

古川 勇二

社団法人首都圏産業活性化協会 会長

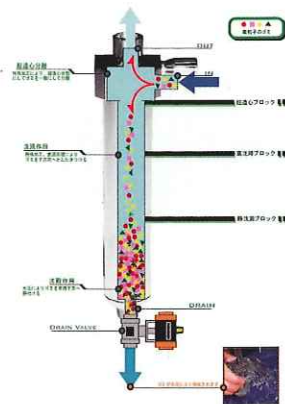
井深 丹

タマティーエルオー株式会社 代表取締役社長

山崎 正芳

西武信用金庫 理事長

### 【TLOの研究開発支援】



#### 産学連携による新製品開発

- ・精密機械加工を主事業としていた、(株)industria (旧社名：タカハシ) は、自社の切削加工ラインで生じていた課題をきっかけにして、切削加工ライン等で発生する微細な切削屑をエレメントを使わずに濾過する新型フィルター「FILSTAR」を開発。
- ・同社は、TAMA-TLOの「産学（広島大学）連携研究開発支援」および研究開発用の「公的資金獲得支援」等によって、この装置の高精度化を実現し、「新FILSTAR」は、1.5ミクロンまで濾過できる画期的な製品となった。
- ・現在、機能面だけでなく、環境面、コスト面でも評価され、国内外の自動車メーカー等から引き合いが相次ぎ、売上が増大している。

TAMAクラスターは、「産・学・官・金」の有機的な連携で新事業創出を支援し、地域産業の発展を目指しています。

### 【地域金融機関の事業化支援】



#### 独自技術を活用した新製品に投資 (TAMAファンド)

- ・(株)エフコムは、独自の「含浸技術」を用いて各種の機能を付加した複合食品を開発。
- ・同社は、TAMA協会の新事業創出支援事業や専門化派遣を活用して、ビジネスプランを構築するとともに、TAMA協会が主催するベンチャーキャピタルとのマッチング会に参加し、全国の産業クラスターの中でも真っ先に創設されたTAMAファンドを獲得した。
- ・さらに、西武信用金庫などの紹介で、多数のVCからの投資を獲得したり、工場用地の紹介を受けるなど、産業クラスターのネットワークを十分に活用して、事業化を成功させている。



#### 連携創出の場を活かして新連携事業の推進

- ・(株)ノナカは高級木製ドアの老舗。バブル崩壊後の売上低下から、新規ビジネスの立ち上げを模索し、TAMA協会の活動に参加。
- ・この結果、西武信用金庫、TAMA協会等が主催する連携創出の場（ビジネスフェア、ビジネスマッチング会、ミニTAMA会）を活かして、新製品開発を実現するパートナー企業との連携体制を構築した。
- ・その連携体によって、高機能な製品の開発をめざす事業計画が新連携計画の認定を受け、昨秋、試作品を発表、現在、着々と事業化を進めている。

## 地域産業活性化への貢献 (TAMA協会・TAMA-TLO・西武信用金庫)

### ・技術への貢献

- ・国内初の幹事大学を持たない、完全な地域型承認TLOが持つ多彩な技術シーズと、高い技術力を持つTAMAの研究開発型会員企業のニーズをマッチングし、産学連携研究開発を強力に推進。
- ・コンソーシアム事業・マッチングファンド事業など多くのプロジェクトの管理法人として新事業創出を推進。
- ・特許出願件数350件（うち海外出願42件、権利化件数国内4件、海外のべ8件）、技術移転件数106件、研究開発プロジェクト管理17テーマ（平成18年9月末までの累計）
- ・韓国漢陽大学との交流による海外展開型産学連携の推進。

### ・市場への貢献

- ・実用化に向けた産学官+金融のプラットフォーム整備  
研究開発終了後、資金不足で製品開発が行えない、いわゆる「デスバレー」を乗り越えるためにTAMAファンドを設立しスムーズな事業化を支援。  
TAMAファンド投資実績：48件12億3,200万円（平成19年2月時点）
- ・中堅・中小企業の販路開拓支援事業  
TAMA販路開拓制度（セールスレップ・販路開拓コーディネータ等の活用）の実践や海外マーケット進出を目指す企業への支援体制を確立。
- ・平成15年から平成17年の3年間の累計連携事例104件、うち事業化事例23件。

### ・社会への貢献

- ・経済産業省が推進する産業クラスター計画のモデルプロジェクトとして、平成13年度より採択。現在、第二期5カ年計画を実施中。
- ・TAMA協会設立後9年を経過し、総会員数は328から666(358企業、国公立大学等40校、1都2県を含む23自治体、133名コーディネータ等)まで拡大。

## 連携体制の特長・波及効果

- ・首都圏西部地域は、産業用機械、電子機器、通信機器等の分野の優れた加工技術を持つ企業、高い市場占有率を誇る製品開発型企業が多数存在し、また、約40の理工系大学を有する、技術ポテンシャルの極めて高い集積地。
- ・この集積のポテンシャルを活かし、経営課題の解決に効果を発揮する専門家集団（TAMAコーディネータ）、技術移転機関のタマティールオー(株)とともに、産学官の緊密な人的ネットワークの構築に努めている。

- ・また、会員金融機関である西武信用金庫との連携により、「TAMAファンド」を創設。TAMA協会、TAMA-TLO、西武しんきんキャピタルの3者からなる投資委員会により、事業の目利きとともに、各種リソースを活用した事業の育成を実施。

- ・研究開発のコーディネートから、事業化に向けた金融や販路開拓、海外展開も含め、新事業展開や新産業創出を目指す企業を、一貫して支援する体制を確立している。

